

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	実施状況				自己評価		外部評価 コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	できていない	コメント	コメント	
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]										
(1) 理念の明確化										
①	サービスの特色を踏まえ、理念の明確化	1	当該サービスの特色である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている							
(2) 適切な人材の育成										
①	専門技術の向上のため、取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特色および事業所の理念について、その内容を十分に認識している							
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーター）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受けられる機会等を確保している							

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				でき ている	ほぼ でき ている	でき てい ない こと が多 い	全く でき てい ない	
		4	管理者は、サービスの提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している					
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている					
(3) 適切な組織体制の構築								
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている					
②	介護・医療連携推進会議で得られた適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている					

タイトル 番号	タイトル 番号	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている					
(5) 安全管理の徹底								
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害等の緊急体制の構築等ため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)					
②	利用者等の個人情報保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護について具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	実施状況				自己評価		外部評価 コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	コメント	コメント	
II 過程評価 (Process)										
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供										
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づいた計画の作成										
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている							
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている							
②	利用者の心身の機能や維持回復の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	1 3	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている							

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき てい ない こと が多 い	全く でき てい ない		
		14	重度化しても医療依存 度を高め過ぎないよう、 利用者の今後の変化を適 予測し、先を見越した適 切なリスク管理を実現 するための、「未来志向 型」の計画の作成が志向 されている						
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサ ービス提供 日時に限定 されない、必 要に応じた 柔軟な定期 巡回・随時対 応サービス の提供	15	計画上のサービス提供 日時以外であっても、利 用者等の状況に変化が 生じた場合は、必要に応 じて新たに定期巡回・随 時対応サービスを提供 日時を設定するなど、柔 軟な運営に努めている						
②	継続したモ ニタリング を通じて利 用者等の状 況変化の早 期把握と、計 画への適宜 反映	16	サービス提供を通じた、 継続的なモニタリング による、利用者等の状況 変化の早期把握と、計画 への適宜反映が行われ ている						

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている					
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の維持・予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている					
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
①	利用者等に当該サービスの趣旨及び特徴等に関する十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスの「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	コメント
②	利用者等と の目標及び 計画の共有 と、適切な 情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている					
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている					
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的なマネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービスの提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている					
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況		コメント		
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多 い	全 く でき ない	
②	定期的なア セスメント標 の結果や目標 の達成状況 等に関する、 多職種への情 報提供	24	サービス担当者会議等 の場を通じて、利用者等 の状況や計画目標の達成 状況について、多職種 への情報提供が行われ ている					
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
①	利用者の在 宅生活の継 続に必要な 等、利用者 等に対する 包括的なサ ポートにつ いて、多職 種による検 討	25	利用者の在宅生活の継 続に必要な、包括的 なサポート（保険外サ ビス、インフォマーケ ア等の活用を含む）につ いて、必要に応じて多職 種による検討が行われ ている（※任意評価項 目）					
		26	病院・施設への入院・入 所、及び病院・施設から の退院・退所の際など に、切れ目のない介護・ 看護サービスを提供す るために、必要に応じて 多職種による検討や情 報の共有が行われてい る（※任意評価項目）					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	コメント
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に際した関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者のおける生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)					
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている					
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている					

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント
				実施状況		コメント		
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
①	行政の地域包括ケアシステムの構築方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している					
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている					
③	安心して暮らせるまちに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題意識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）					

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント
				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	コメント
III 結果評価 (Outcome)								
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている					
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている					